



JAPAN KARATE JUDGE ORGANIZATION

JKJO東北地区代表選抜大会

～第13回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会・選抜地区予選会～

【日時】2019年3月3日(日)

選手受付・計量 12:00
開会式 13:00
試合開始 13:15
※当日の進行により、時間が多少前後することもあります。

【会場】八戸市体育館
〒031-0073 八戸市大字売市奥遊下3 ☎0178-22-7181

【主催】JKJO全日本空手審判機構 東北地区事務局

【主管】実戦空手道 武部道場

【参加資格】東北地区のJKJO参加団体が参加可能。**※既に代表権決定の選手は出場できません。**
(申し込み後に代表権を獲得した場合は手数料を引いて返金致します。)
JKJO参加団体以外の選手は、個人登録が必要となります。要選手登録費2000円。
2年間審判講習会に参加していない道場も個人登録が必要となります。

【参加費】5,000円 (昼食は各自でご用意ください。)

【防具】JKJO規約に則ります (別紙参照)
・ヘッドガード(JKJO指定品)は各自用意。**主催者は用意しません。**
・拳サポーター、スネサポーター:JKJO指定品のみ可 ・膝サポーター:3年生以上義務 JKJO指定品のみ可
・胸サポーター:3年生以上女子義務(2年生以下着用禁止) ・帯留め:義務
・ファールカップはズボンの下に、女子の胸ガードはTシャツの下に着用(JKJO推奨品)
・女子が空手衣の下に着用するTシャツは白色、男子はTシャツは着用できません。
※上記の指定された防具を着用していない選手は出場をお断りさせていただきます。

【ルール】JKJO全日本審判機構公認ルール(別紙参照)

【階級】幼年～高校生 学年別・男女別のトーナメント制
体重別クラスは本大会申込み時点の体重で出場階級を選択してください。
計量時、規程体重を超えた選手は失格となりますので、大会当日までの成長を考慮して階級を選択してください。上:Tシャツ、下:空手着で計量してください。(500gまで考慮致します。)
申告体重に虚偽が無い様、正確にご記入ください。

【代表枠】出場総人数 : 200名以下 各カテゴリー1名(優勝者のみ)
: 201名以上～400名以下 各カテゴリー2名(優勝者・準優勝者)
: 401名以上 各カテゴリー4名(優勝者・準優勝者・3位)

【注意事項】*受付は当日、個人ごとにいたします。ゼッケンも当日配布いたします。
*参加選手はスポーツ保険に事前に参加しておいてください。
*怪我によりテーピングを施す必要がある場合は救護係の指示に従い検印を受けてください。
テーピングは持参してください。※検印が無い場合は取り外しとなります。
*派手な髪型(金髪など過度の染髪、デザインした剃り込みを入れる等)での出場は禁止します。
*選手はコート入退場時の挨拶を徹底してください。判定時の雄叫び・ガッツポーズは禁止です。
*参加選手は勿論、付き添いの方々も相手選手や審判員に対する礼節・マナーに充分ご配慮願います。
*セコンドはありません。
*ホール内での飲食は禁止。ゴミは各自で持ち帰って下さい。
*三脚を使用してのビデオ撮影はご遠慮ください。
*組み合わせ、判定に対するクレームは一切受け付けません。
*選手、審判、スタッフ以外はパーテーション内に入らないで下さい。
*申し込み後の代表権獲得者を除き、如何なる理由でも一度納入頂いた参加費は返却できません。
*以前にJKJO参加団体とのトラブルや、大会にてトラブルがあった道場は
出場をお断りさせて頂く場合がございます。

【申込締切】**2019年1月10日(木)必着**

※出場申込用紙と参加費を各道場単位でまとめて現金書留にてご郵送ください。
期限後の申込みは一切できません。申込み後のキャンセルはできません。

【申込書送付先】〒999-3511
山形県西村山郡河北町谷地辛2093 至真会館
JKJO全日本空手審判機構 東北地区事務局
☎0237-72-2901 FAX 0237-72-2900 info_shishinkaikan@yahoo.co.jp

第13回JKJO全日本ジュニア 東北地区代表選抜大会 出場申込書

大会実行委員長 殿

私議、下記の通り相違なく、本大会のルールに従い正々堂々と競い合うことをここに誓います。
また、本大会中における負傷・事故につきましては、主催者側にその責任の一切を問いません。

平成 年 月 日

道場責任者 (印)

選手保護者氏名 (印)

フリガナ			男	生年月日	平成	年	月	日	
氏名			女	T E L	()				
現住所	(〒 -)								
学年	幼児 (年中 ・ 年長)								
級段位	級・段	帯色	色帯	年齢 <small>大会当日時の年齢</small>	歳				
身長	cm	体重	kg	空手修行歴	年 ヶ月				
出場クラス クラス番号 該当クラスを ○でかこんで ください	幼児	[1] 幼年男子	[2] 幼年女子	/					
	小学生	[3] 小学1年男子	[4] 小学1年女子	[5] 小学2年男子	[6] 小学2年女子				
		[7] 小学3年男子 軽量29kg未満	[8] 小学3年男子 重量29kg以上	[9] 小学3年女子	/				
		[10] 小学4年男子 軽量32kg未満	[11] 小学4年男子 重量32kg以上	[12] 小学4年女子 軽量32kg未満	[13] 小学4年女子 重量32kg以上				
		[14] 小学5年男子 軽量37kg未満	[15] 小学5年男子 重量37kg以上	[16] 小学5年女子 軽量37kg未満	[17] 小学5年女子 重量37kg以上				
		[18] 小学6年男子 軽量43kg未満	[19] 小学6年男子 重量43kg以上	[20] 小学6年女子 軽量43kg未満	[21] 小学6年女子 重量43kg以上				
	中学生	[22] 中学1年男子 45kg未満	[23] 中学1年男子 55kg未満	[24] 中学1年男子 55kg以上					
		[25] 中学2～3年男子50kg未満	[26] 中学2～3年男子60kg未満	[27] 中学2～3年男子60kg以上					
		[28] 中学1年女子 45kg未満	/		[29] 中学1年女子 45kg以上				
		[30] 中学2～3年女子45kg未満	[31] 中学2～3年女子52kg未満	[32] 中学2～3年女子52kg以上					
	高校生	[33] 高校男子 60kg未満	[34] 高校男子 70kg未満	[35] 高校男子 70kg以上					
		[36] 高校女子 48kg未満	[37] 高校女子 55kg未満	[38] 高校女子 55kg以上					
	所属道場名			所在地	(〒 -)				
支部名	支部		所在地	TEL ()					
道場名非公開希望は○をしてください								道場名非公開	
スポーツ保険	加入している (必ず○をして下さい。未加入者は出場不可)								
JKJO地区選抜・ 指定大会入賞 歴(過去2年 間)									

* [0kg未満]クラスは、当日受付にて計量を行います。(上:Tシャツ、下:空手着で計量してください)衣服の重さは500g(0.5kg)まで許容値と致します。尚、それを超えた場合は失格となり、いかなる形でも出場はできません。申請体重は必ず虚偽なく正確に記入してください。

* 入賞歴を記入する事により、有力選手(シード)の対象者となります。 * ゼッケンは当日配布いたします

JKJO全日本空手審判機構 試合規約

	試合時間				組 手		サポーター						
	本戦	延長 ※マスト	再延長 ※マスト	上段ガ	一本 (自滅も同様)	技有り (自滅も同様)	ヘッドガード JKJO指定品 各自用意	拳 JKJO指定品 各自用意	スネ 脛 JKJO指定品 各自用意	ヒザ 膝 JKJO指定品 各自用意	ファール カップ JKJO推奨品 各自用意	女性用 チェストガード JKJO推奨品 各自用意	
幼児 小学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	無	打撃により 一瞬でもダウン 3秒以上の 戦意喪失	① 宙に浮かせ転倒させる ② 上段にクリーンヒット ③ 一時的に動きが止まる ④ 一時的に戦意喪失 ⑤ 下段蹴りで足を引きずる ⑥ 腹部のダメージで体が くの字になる ⑦ 防戦一方になり反撃しない 状態が続く	○	○	○	○ 3年以上 義務	○	3年生以上女子 ○ 2年生以下女子 × 男子 ×	
中学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	有			○	○	○	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
高校生	2分	2分	2分 決勝のみ	有			○	○ グローブ	○	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
一般 女子	2分	2分	2分 決勝のみ	有	打撃で3秒 以上のダウン	① 完全に宙に浮かせ転倒させ タイミング良く下突きを合わ せれば技有り ② 上段にクリーンヒットし ダメージがあれば技有り ③～⑥ ジュニアと共通	×	×	○	任意	○	○ 硬質可	
一般 男子	2分 準決勝から 3分	2分	2分 準決勝から	有	3秒以上の 戦意喪失	③～⑥ ジュニアと共通	×	×	×	×	○	×	

※JKJO 指定品と同タイプで、新極真のロゴマークが入っているサポーター (新極真 NS, 新極真 SL-3058)、
ヘッドガード (金網面 HG-M3-WH-SK) は使用可。

反 則
a. 掴み、掴んでからの攻撃、掛け、抱え込み b. 掌底押し、正拳押し、相手の身体に手・胸を付けての攻撃 c. 頭突き、頭をつけての攻撃、背後からの攻撃 d. 手技による顔面・首への攻撃、膝への関節蹴り e. 下腹部(帯より下、股関節より上)への攻撃(一般は金的) f. 故意に場外へ出る事、審判が判断した技のかけ逃げ g. 上段膝蹴り(小学生以下は反則、中学生以上は有効) h. 主審の「やめ」の合図の後に意図的に攻撃をした場合 i. その他審判が反則とみなした場合

失 格
a. 注意4となった場合 b. 一度の反則でも相手がドクターストップになった場合 c. 試合時間に遅れた時 d. 審判員の指示に従わない時 e. 試合開始から判定が下されるまでの嘔吐はダメージ とみなされ失格とする f. 規定体重を超えていた場合

判定優先順位
一本 (失格) > 技有り > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性

判定基準図解												
<table style="margin: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">技有り1</td> <td style="text-align: center;">技有り2(一本)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">注意1</td> <td style="text-align: center;">注意2</td> <td style="text-align: center;">注意3</td> <td style="text-align: center;">注意4(失格)</td> </tr> </table>		技有り1	技有り2(一本)						注意1	注意2	注意3	注意4(失格)
	技有り1	技有り2(一本)										
注意1	注意2	注意3	注意4(失格)									

注意差の関係			
0 ≦ 注意1 ≦ 注意2 ≦ 注意3 > 注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格		
0 ≧ 注意2	注意差2の時は基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある		
0 > 注意3	注意差3の時はどんなに試合内容でリードしていても技有りを取らない限り負けである		
0 > 注意4	注意4になった時点で失格		
注意1 ≧ 注意3	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある		
注意1 > 注意4	注意4になった時点で失格なので相殺されない		
注意2 > 注意4	注意4になった時点で失格		

注意差と技有りの関係			
0 < 技有+注意1 ≦ 技有+注意2 ≦ 技有+注意3 > 技有+注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格		
0 < 技有+注意2	注意差2でも技有りがあるので勝ちである		
0 ≦ 技有+注意3	技有りがあるので勝ちだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある		
0 > 技有+注意4	技有りがあっても注意4になった時点で失格		
技有+注意1 ≧ 技有+注意3	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある		
技有+注意1 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格		
技有+注意2 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格		

着 衣
<ul style="list-style-type: none"> ・ 帯留め着用必須 (帯が解けないように帯留め又はテープで固定) ・ ファールカップはスポンの内側にすること。 ・ 男子のインナーTシャツは禁止、女子は白のみとする。 ・ 女子のチェストガードはTシャツの下に着用すること。

禁 止 事 項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 判定後の「雄叫び」「ガッツポーズ」は厳禁とする。(注意・失格となる場合がある) ・ 判定に対しての抗議は一切受け付けない。 ・ 怪我によりテーピングを施す必要がある場合は救護係りの指示に従い検印を受ける。 ・ テーピングは各自持参すること。

注 意 事 項
<ul style="list-style-type: none"> ・ セCONDコートは付けられない事とする。応援は禁止とする。 ・ 派手な髪型 (金髪など過度の染髪、デザインした剃り込みを入れる等) での出場は禁止とする。 ・ 大会参加前には必ず各自スポーツ保険に加入すること。・大会主催者は、大会当日の事故・怪我・盗難についての一切の責任を負わないこととする。